

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2025-2026
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2520
GOVERNOR:
TAKEHIKO KATOH

最終号

7 2026
月信
VOL.13



CONTENTS

ガバナーメッセージ 03

国際ロータリー第2520地区 2025年 - 2026年度ガバナー 加藤 雄彦

1 年間を振り返って

■地区委員会 委員長 05

会員増強・クラブ活性化委員会	委員長 加藤 幹夫 (仙台北 RC)
地区ラーニング委員会	委員長 森川 昭正 (仙台宮城野 RC)
公共イメージ委員会	委員長 林 宙紀 (仙台奥羽 RC)
ローターアクト共同委員会	委員長 半澤 修司 (仙台南 RC)
ロータリー財団委員会	委員長 伊藤 智仁 (花巻南 RC)
国際奉仕・国際大会委員会	委員長 國分 敏彦 (二戸 RC)
地区米山記念奨学会	委員長 白鳥 淳 (築館 RC)
RLI 委員会	委員長 小池 康浩 (仙台泉 RC)
青少年奉仕委員会	委員長 佐藤 知樹 (仙台 RC)
青少年交換委員会	委員長 佐々木 史昭 (花巻 RC)
危機管理委員会	委員長 鈴木 俊一 (仙台南 RC)

■ 25-26 年度 ガバナー補佐 11

第 1 分区久慈・二戸ゾーン	ガバナー補佐 齋藤 豊 (久慈 RC)
第 1 分区盛岡ゾーン	ガバナー補佐 小山田 榮二 (盛岡西 RC)
第 2 分区花巻・北上ゾーン	ガバナー補佐 佐藤 克也 (花巻北 RC)
第 2 分区奥州ゾーン	ガバナー補佐 安藤 早苗 (奥州水沢東 RC)
第 4 分区遠野・釜石ゾーン	ガバナー補佐 千葉 純子 (遠野 RC)
第 4 分区宮古・山田ゾーン	ガバナー補佐 寺崎 勉 (宮古 RC)
第 5 分区石巻ゾーン	ガバナー補佐 阿部 俊範 (石巻東 RC)
第 5 分区登米・栗原ゾーン	ガバナー補佐 高橋 利光 (佐沼 RC)
第 6 分区大崎ゾーン	ガバナー補佐 早坂 竜太 (古川東 RC)
第 6 分区松塩ゾーン	ガバナー補佐 佐浦 弘一 (塩釜 RC)
第 7 分区仙台青葉ゾーン	ガバナー補佐 及川 正紹 (仙台 RC)
第 7 分区仙台広瀬ゾーン	ガバナー補佐 渡邊 宏 (仙台北 RC)
第 8 分区阿武隈ゾーン	ガバナー補佐 今野 茂男 (丸森 RC)
第 8 分区蔵王ゾーン	ガバナー補佐 志村 浩幸 (白石 RC)

2026-2027年度 3大セミナー開催報告 18

国際大会速報 19

新入会員紹介・退会者報告 20

クラブ会員数・寄付状況 21

寄付認証／財団表彰・お知らせ・1年間の御礼 22

ガバナー月信 2026年7月号（集大成）

「手を取って未来へ」—— 感謝と希望を胸に

国際ロータリー第2520地区 2025-2026年度ガバナー

加藤 雄彦 KATO Takehiko

国際ロータリー第2520地区は、2025-2026年度、「手を取って未来へ — HAND IN HAND TO THE FUTURE —」を地区大会テーマとして掲げ、さらにガバナースローガン「Review & Renew (検討し、更新しよう)」のもと、一年間の歩みを進めてまいりました。

本年6月末をもって、私のガバナーとしての任期も終了いたしました。振り返れば、この一年は決して平坦な道ではありませんでした。しかしながら、地区内各クラブの会長・幹事・会員の皆様、地区役員・委員会の皆様、そして国内外の多くのロータリアンのお支えによって、数え切れないほどの友情と奉仕の実践に触れることができました。心より深く御礼申し上げます。

本年度、私たち第2520地区は、東日本大震災から15年という節目を迎えました。岩手・宮城の地において、ロータリーは単なる支援団体ではなく、「地域と共に歩む存在」であり続けてきました。震災直後に世界中から届けられた友情と支援への感謝を忘れることなく、私たちはその恩を次世代へ、そして世界へ返していく責任があります。

その象徴の一つが、日本のロータリー史上初となる「日本・ウクライナ国際共同委員会(ICC)」の設立であります。この構想は、ウクライナ第2232地区ガバナー、ドクターオルハ・パリチュク氏との友情を礎として、2024年シンガポール国際大会以来、静かに温め続けてきたものであります。戦禍の中にあるウクライナの人々と心を通わせ、相互理解と友情を築きながら、未来へ向けた国際奉仕の新たな扉を開くことができたことは、私たち第2520地区にとって大きな歴史的意義を持つものであったと感じております。

第54回ロータリー研究会、そして地区大会において、



多くのロータリアンがこの活動に共感し、「平和を願うロータリー」の姿を共有できたことは、私にとって忘れ得ぬ感動であります。

また、地区大会には1001名もの登録をいただきました。これは地区会員の約半数にあたる参加であり、「共に集い、語り合い、未来を考える」というロータリー本来の力を改めて実感いたしました。韓国第3640地区との友情、能登半島支援への連帯、環境保全活動としてのアマモ再生活動など、多くの実践が、本年度国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ 氏のメッセージ「UNITE FOR GOOD」の理念へとつながっていたと感じております。

ガバナーメッセージ

さらに本年度は、青少年奉仕の大切さを再認識した一年でもありました。インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換などを通じて、多くの若者たちが国境や文化を越えて交流し、自ら未来を切り拓こうとする姿に接することができました。特に、ウクライナの若者たちとの交流は、平和教育の本質を私たちに問いかける貴重な機会となりました。

加えて、本年度は地区運営の基盤整備にも力を注いだ一年でありました。ロータリー章典の理念に基づき、地区組織の改編と運営体制の見直しを進めるとともに、第2810地区と第2520地区の合併以前から続いていた地区予算編成の流れを整理・一本化し、公益法人会計基準に基づく透明性と継続性を重視した財務運営の基盤整備に取り組みました。これは単年度の改革ではなく、将来の地区運営を支えるための土台づくりであり、次世代へ責任ある組織運営を引き継ぐための重要な一歩であったと考えております。

一方で、会員減少やクラブ運営の課題、財団寄付の伸び悩み、地域社会の変化など、ロータリーを取り巻く環境は決して容易ではありません。しかし、そのような時代だからこそ、「Review & Renew」の精神が必要であると考えます。過去を尊びながらも、未来のために変化を恐れず、新しい奉仕、新しい友情、新しいクラブのあり方を模索していくこと。それが次の時代への責任であると思えます。

そして、2026-2027年度には、柴田茂ガバナーが第2520地区の新たな舵取りを担われます。柴田ガバナーは、長年にわたり地区運営とクラブ活動の発展に尽力され、温厚誠実なお人柄と確かな実践力によって、多くのロータリアンから厚い信頼を寄せられております。

次年度、国際ロータリー会長 オラインカ・ババローラ氏は、「Create Lasting Impact」という力強いメッセージを掲げておられます。それは、本年度の「UNITE FOR GOOD」の理念を受け継ぎながら、“善のために結束した力を、持続する変化へと結びつける”という未来志向の呼びかけであると感じております。

第2520地区は、柴田ガバナーのもとで、さらに温かな友情と力強い奉仕に満ちた一年を築かれることでしょう。岩手・宮城のロータリークラブが培ってきた「地域と共に歩む精神」が、次年度さらに発展し、多くの人々に希望と勇気を届けられることを心より祈念申し上げます。

私自身も、一ロータリアンとして、次年度地区運営のご成功を心から応援してまいります。

さらに、私には一つの小さな夢があります。それは、いつの日か、平和で自由なウクライナの大地に桜を植樹し、日本・ウクライナ国際共同委員会(ICC)の友情と平和の象徴とすることです。

日本人にとって桜は、厳しい冬を越え、再び春を迎える「希望」の象徴であります。戦禍の中にあるウクライナの人々が、いつの日か真の平和と復興の春を迎え、その大地に咲く桜を通じて、日本とウクライナの友情が未来へ受け継がれていくことを、心から願っております。

最後になりますが、この一年間、至らぬ私を支えてくださったすべてのロータリーファミリーの皆様へ、改めて心より感謝申し上げます。第2520地区の友情と奉仕の灯が、これからも岩手・宮城の地から世界へ向けて力強く輝き続けることを祈念し、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

手を取って 咲かせし桜 海越えて 平和の未来へ
心つなげむ

1年を振り返って

1年を振り返って



会員増強・クラブ活性化委員会 委員長 加藤 幹夫 (仙台北RC)

2025-26年度RI会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長からフランチェスコ・アレツォ RI会長に代わりましたが、テーマ「UNITE FOR GOOD」や最優先事項に「会員増強」を挙げたことなどは変わらず、今年度の会員増強・クラブ活性化委員会は、加藤雄彦ガバナーの方針をしっかりと理解し、会員増強とクラブ活性化に取り組みました。まず委員会のメンバーとの情報交流と意見交換に力を注ぎ、遠藤副委員長のご協力の下、「大観楼」で情報発信力のある公共イメージ向上委員会と合同で情報交換会を開催し、委員会内に小委員会も立ち上げました。2520地区の現状は、クラブ数の減少など会員数のマイナス要因がありましたが、加藤ガバナーのリーダーシップにより、多賀城ロータリークラブに多賀城1300衛星クラブができたことは、2520地区の会員増強の良い手本になりました。

2026年5月時点で、2520地区の会員数は2032名で会員数を漸増することができましたが、2520地区ロータリークラブの皆様へ、更なる会員増強と退会防止の取組みと話し合いの機会をお願いいたします。今年度、2520地区会員の皆様のご協力に感謝を申し上げ、1年を振り返っての挨拶といたします。



地区ラーニング委員会 委員長 森川 昭正 (仙台宮城野RC)

2025-26年度、地区ラーニング委員会委員長を拝命し、加藤ガバナーのご指導のもと活動できましたことに、心より感謝申し上げます。

今年度の委員会活動において最も大きな取り組みは、「地区行動計画推進セミナー」と「地区クラブサポートミーティング」を4半期毎に年4回併催したことでした。お忙しい中、ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

セミナーでは、国際ロータリーが目指す方向性や日本におけるロータリーの現状、そして第2520地区の課題や取り組みについて情報共有を行いました。会員減少やクラブ運営の変化など、私たちを取り巻く環境が大きく変わる中で、世界・日本・地区の現状を共通認識として持つことの重要性を改めて実感した一年でもありました。また、クラブ同士が学び合い、それぞれの実践事例を共有することで、今後の各クラブの運営の一助となる機会を提供できたのではないかと感じています。

これらのセミナーが成功裏に実施できましたのは、各分区のガバナー補佐の皆様をはじめ、地区役員、委員会委員、そしてご参加いただいた会員の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

一年間の活動を通じて得られた学びと経験を今後の地区運営に生かし、引き続きロータリーの発展と会員の成長に貢献できることを願っております。皆様の温かいご支援に改めて御礼申し上げます、1年の振り返りとさせていただきます。

1 年を振り返って



公共イメージ委員会 委員長 林 宙紀 (仙台奥羽RC)

今年度は「ロータリークラブの認知度拡大」を目標に掲げ、月1回のオンライン定例会を通じて、委員の皆さんと活発な議論を重ねてまいりました。

今年度の主な活動として、二つの取り組みを実施しました。第一に、「アメリカンフェスティバル」(2025年10月)および「仙台ダンスフェスティバル」への協賛と、会場でのポリオ募金活動です。のぼりや配布物に地区名を明記し、ロータリーを知らない方々への認知度向上を図りました。第二に、今年1月に開始したポッドキャスト番組の制作・配信です。地区リーダーの「生き様」を声で届けるこの取り組みは、ロータリー外への波及効果が非常に高いと感じています。

この1年間の活動を通じて、「地区内クラブ同士の活動を共有する」場が、限定的であるということにも気づきました。私は次年度も委員長を拝命しますため、委員会公式Facebookページの運用とポッドキャストの継続配信を両輪に、“外部への発信強化”だけでなく、“地区内クラブの活動をつなぐ土壌づくり”も、併せて進めてまいります。

当委員会の活動をお支えいただいたすべての皆様に、深く感謝申し上げます。その御恩に報いるべく、次年度も微力を尽くす所存です。



ローターアクト共同委員会 委員長 半澤 修司 (仙台南RC)

本年度、第2520地区ローターアクト共同委員長を務めさせていただきました。本年度は、ローターアクトクラブが青少年プログラムから独立した正式なクラブであることを踏まえ、第2520地区において初めてローターアクト委員会が青少年奉仕委員会から独立して活動した記念すべき年度となりました。

活動を通じて感じたことは、ローターアクトを取り巻く環境が大きな転換期を迎えているということです。年齢制限の撤廃や人頭分担金制度の導入により、ローターアクトクラブにはこれまで以上に自主性と責任が求められるようになりました。そのような中、本年度は新たに東北学院大学ローターアクトクラブが誕生し、第2520地区の未来に向けた大きな一歩となりました。若い世代が奉仕を通じて成長し、新たな仲間とのつながりを築く場が広がったことを大変嬉しく感じております。

一年間ご支援、ご協力を賜りましたローターアクターの皆様、提唱ロータリークラブの皆様、地区役員の皆様に心より感謝申し上げます。第2520地区ローターアクトクラブのさらなる発展を祈念し、委員長としての最後のご挨拶とさせていただきます。



ロータリー財団委員会 委員長 伊藤 智仁 (花巻南RC)

加藤雄彦ガバナーをはじめとする地区ロータリアン皆様の協力により財団活動を活発に実施することが出来ました。本年度は為替レートの変動が大きく地区補助金(DG)の精算で

1 年を振り返って

苦労しましたが、グローバル補助金(GG)は、これ迄と変わった形で展開出来たのでこの感想をもって報告に変えます。なお、期を跨ぐGGですから佐藤剛年度に関係するものも含まれます。

- ①「てんかん患者の社会的認識改善運動支援」日本での「らい病」における患者や家族に対する偏見を改めようとする活動に類似したもの__韓国3640地区(実施国)・当地区(実施国)
- ②「太平洋諸島における小児緊急蘇生(SUPER)プロジェクト支援」パラオ共和国での緊急医療サービス機器の提供と教育__パラオ2750地区(実施国)・ホノルル(援助国)・当地区仙台RC(資金支援)
- ③「東日本震災復興プロジェクト「感謝と希望」— 未来につなごう！私たちの海」松島湾でのアマモ再生による生態系の取り戻し__当地区塩釜RC(実施国)・韓国3640地区(援助国)
- ④「ウクライナにおける医療サービスのための超音波スキャナー提供」携帯型超音波診断装置の提供による医療官許の整備_ウクライナ2232地区(実施国)・当地区(援助国)

そもそもGGは海外地区との共同事業であり、海外で実施する事業を指すものではありません。①は3640地区からの要請に応じたもので調査・実施はD3640が行います。②は2750地区の要請を仙台RC*が受け当地区としてGG事業として傍聴するだけのもの③は日本での調査・実施事業ですが3640地区に声掛けしてGG事業として成立。④は2232地区で調査・実施し当地区も援助国と加わったもの。

このように、実施場所では無く海外地区との共同事業であることがGG要件であって海外地の実施を要件とするものではありません。今では実施国がメールで援助国を募ることをしていますが、当地区が3640地区を姉妹地区とするように各クラブでも気心の合う姉妹クラブや友好クラブが海外にあると思います。③のように地元事業でも海外の知り合いに声掛けして協力が得られれば、GGとして成立します。しかもGGとして成立すれば夫々の地区のGGに同額のWFが加えられより充実した事業が成立します。④は地区の青少年交換で親しくなった2232地区の呼びかけに応じた事業。

原則、援助国が直接実施に参加する必要はありませんが、闇雲なメール募集だと騙されることも考えられます。

財団資金が、地域で縮こまる事の無い様、上手く考えた仕組みを実感する経験でした。



国際奉仕・国際大会委員会

委員長 國分 敏彦 (二戸RC)

グローバルの必要性が叫ばれる今日、ロータリーの国際奉仕活動もこれに呼応して活発にしていかなければならないのは、当然だと思っております。

この状況に対応する国際奉仕活動の委員長としての心構えも、時代に即した活動をしなくてはと考えておりました。

国際奉仕活動につきましては、ロータリー活動の中で今後ますます重要な委員会になってくることを強く皆さんにお伝えしたいとの気持ちでおりました。

1 年を振り返って

皆さんのクラブでは1年間様々な活動を活発にされたと思います。

地区の担当者として活動の中で、計画予定などの予定をガバナー月信での活用が全く無く、もっと積極的に各クラブにお伝え出来なかったことを深く反省しております。

また地区として各クラブの皆様にご協力をお願いをしまいましたが、呼応して応じていただいたクラブが少なかったのが残念でなりません。

今後国際奉仕活動は、ロータリーの活動の中でも最も重要であることを強調したいと思います。どうか次年度は、この活動に関心をもっていただき、自ら率先して参加していただきたいと思います。

最後になりますが、本年度の当委員会の活動に対しまして、加藤ガバナーをはじめ多くのパストガバナーの皆様からご助言をいただき、また各クラブの皆様から誠意あるご協力をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。



地区米山記念奨学会

委員長 白鳥 淳 (築館RC)

当委員会は奨学生の世話とその財源の裏付けである寄付金を募る役目があります。奨学生の為のプログラムはオリエンテーション、研修旅行・梨狩り、歓送会等です。お陰様で有意義に日本文化を理解していただく事が出来ました。又、世話クラブ会員皆様方とも素晴らしい出会いと交流があったと報告を受けております。多くのクラブの皆様と交流の機会を与えられるよう前年度受入のアンケートを実施いたしました。受入希望クラブが多く今年度より米山奨学生に対する理解度を計るために前年度一年分、当該年度半期分の個人平均寄付額並びに寄付総額で点数付けをし上位クラブより受入希望を打診する事といたしました。但し特別な希望も加味することと致しております。地区に割当られる奨学生数は簡単に申せば3年前年度の寄付金額により算定されます。割当人数により指定校へ応募者数を通知しガバナーを含めた正副委員長で書類選考・個人面接試験を経て奨学生として採用されます。学内選抜から始まり多くの試験を合格した優秀な学生であることは間違いございません。将来母国と日本の重要な交流の要として活躍することを願っております。一人でも多くの奨学生をお世話できるよう前年度よりは今年度さらに次年度と前の年度以上の寄付金拠出の協力と当事業への理解をお願い致します。



RLI委員会

委員長 小池 康浩 (仙台泉RC)

2025-2026年度の終わりを迎えるにあたり、RLI委員会の活動にご理解とご支援を賜りました加藤ガバナーをはじめ地区役員の皆様、委員会メンバーの皆様、そして参加者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度も多くの会員の皆様にRLIへご参加いただき、ロータリーの理念やリーダーシップについて互いに学び合う貴重な機会を共有することができました。

ディスカッションを重ねる中で、新たな気づきを得るとともに、クラブや地区を超えた

1 年を振り返って

友情と信頼の輪が広がっていく様子を目の当たりにし、RLIの果たす役割の大きさを改めて実感した一年でした。

また、修了された皆様がそれぞれのクラブで活躍されることが、2520地区全体の活性化にもつながるものと大いに期待しております。

これからもRLIが会員一人ひとりの成長とクラブの発展に寄与する場として、さらに充実したものとなるよう努めてまいります。一年間、本当にありがとうございました。



青少年奉仕委員会 委員長 佐藤 知樹 (仙台RC)

本年度、第2520地区にて青少年奉仕委員長を務めさせていただきました。

地区青少年奉仕委員会は、RYLA（ライラ）委員会およびインターアクト(IA)委員会、2つの小委員会で構成されています。

RYLA委員会ではリーダー育成のための指導者養成プログラムを実施。インターアクトやローターアクトに属する青少年の視野を広げ多角的に学ぶ機会を提供しています。

またインターアクト委員会では年次大会を「インターアクト創設60周年記念大会」として、全国初のIACである仙台育英学園高等学校をホストとして開催。盛大に60年の歩みと功績を共有し、未来へ繋げる機会と致しました。

青少年奉仕委員会は、RA委員会および青少年交換委員会と密に情報共有をしながら、IA、RA、青少年交換留学生等の育成・支援・連携・地位向上を目指し多角的に活動します。彼らこそが“未来への希望”であり、持続可能な社会の構築に直結するものです。

地区内全クラブみなさまのご理解、ご支援とご協力に心から感謝申し上げます。



青少年交換委員会 委員長 佐々木史昭 (花巻RC)

2025-26年度当地区の（長期）青少年交換は、下記2名で行いました。

OBS	クラブ	スクール		IBS	相手国	相手地区
及川久玲羽	仙台南RC	常盤木学園高	⇔	アリス・ディノス	フランス	D.1520
高橋杏奈	花巻RC	花巻北高	⇔	ケイラ・コールマン	アメリカ	D.5960

8/2に2024-25年度派遣生帰国報告会&2025-26年度社行会が行われ、

8/22～24にはIBS2名を仙台空港で迎え入れ、オリエンテーション、ホストクラブ引渡式を行いました。9/6～7にはRYLA、11/24には第1回オリエンテーション、2026年1/10～11には第2回宿泊オリエンテーション、1/24～26には東北多地区合同スキーキャンプ、3/7には第3回オリエンテーション&2520地区ROTEX同窓会、3/19～21には東北多地区合同スプリングキャンプin花巻を主催、5/27～31には東北多地区合同福岡・長崎ツアー及び全国RYE研究会福岡会議へ参加しました。

4/16付で、ケイラ・コールマンが、IBSとしての態度・活動状況が不適格として早期帰国処置となったことは残念でしたが、本人、相手地区、ホストクラブ、ホストファミリー、

1 年を振り返って

ホストスクール含めた総意によりガバナー決済が下され、RI及びRIJYEMへの報告も淡々と行われました。

2026-27年度の長期交換は、下記により行う予定です。

OBS	クラブ	スクール	⇔	IBS	相手国	相手地区
菅原 杏	北上西RC	花巻北高		リュシー・ダンジョウ	フランス	D.1520

(短期)青少年交換は、5750地区オクラホマより、団長アダム&ダーラ・ブッシュ夫妻と短期生マディソン、ディラニー、ヒル、ジョナサン、シャーロットの計7名が、5/26～6/9の日程で、仙台育英学園高校を宿泊地にしながら、仙台レインボーRCのホストと第5～8分区のご協力により、仙台、石巻、白石、佐沼、古川まで活動範囲を拡げて、交流を深めることが出来ました。

関わって頂いた多くの方のご協力に心より感謝申し上げます。



危機管理委員会 委員長 鈴木 俊一 (仙台南RC)

加藤ガバナー年度では、危機管理委員会の顕著な活動を必要とする事案は発生しておりません。何よりでございます。

危機管理委員会としては、様々な危機の中でも、近年は特にロータリー精神に反するハラスメントに対応することを想定せざるを得ない状況です。ロータリークラブでは虐待や嫌がらせ・ハラスメントを一切許しません。ハラスメントという言葉に対して過敏になりすぎているとお感じの会員がいらっしゃるかもしれませんが、世代によってはハラスメントの兆候にとっても敏感です。相手が不快に感じることをしてはいけません。世の中の大きな流れとご理解ください。

セクシャルハラスメントやパワーハラスメントは社会的な環境の変化によりまして、ハラスメントを受けた側からの考え方も変わってまいりました。同じクラブの会員であっても性別や世代の違い、ましてや相手が未成年者や習慣の異なる外国からの留学生の場合は細かい配慮が必要とされます。

今後も危機管理委員会の出番が無く、特にハラスメントを発生させないことがクラブに危機を招かずに、活動を継続できることと心掛けをお願い致します。

1 年を振り返って



第1分区久慈・二戸ゾーン

ガバナー補佐 齋藤 豊 (久慈RC)

第1分区久慈RCの齋藤です。ガバナー補佐としての2年間を振り返ると、大変だったことよりも、多くの学びと充実した時間を過ごせたことが印象に残っています。

特に、各クラブへのメイキャップを通じて他クラブの例会に参加できたことは、大変貴重な経験でした。特別な機会や理由がなければ他クラブの例会へ出席することは容易ではありませんが、各クラブの活動や特色を直接知ることによって、多くの刺激と学びを得ることができました。また、小規模クラブでは会員数や予算の制約から事業の幅が限られるため、クラブ間連携の重要性を強く感じました。地域の魅力や人材を共有することで活動の可能性が広がり、ロータリーの認知向上にもつながります。今後は近隣クラブの例会日程を会員へ紹介するなど、日常的な交流を促進する環境づくりを進めていきたいと考えています。最後に皆様への感謝と今後の活躍と健勝、そしてクラブ間の交流が深まることをご祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。



第1分区盛岡ゾーン

ガバナー補佐 小山田 榮二 (盛岡西RC)

ガバナー補佐を拝命して最初の仕事が盛岡地区8クラブのガバナー訪問の日程を、8クラブ個別で昼夜開催1週間に調整することでした。ガバナー訪問に合わせて各クラブに年次目標を提出してもらい、目標達成に向けて努力頂きました。おかげさまでガバナーからお褒めの言葉を頂きました。各クラブの皆様感謝申し上げます。

今年一年を振り返るとインターシティミーティングの開催が思い出深いです。ロータリーの公共イメージの向上の為にインターシティミーティングを活用することを計画し、記念講演会に一般参加者を募ることにしました。広い会場が予約出来なかった為、ロータリアンには別会場に配信してスクリーンでの聴講としました。ユーチューブで配信すればもっとアピール出来ると考えましたが、準備の都合上出来ませんでした。配信しての開催については今後につながるのではないのでしょうか。

「ツキノワグマの生態と対策法を知る」と題して岩手大学の山内准教授の講演はタイムリーな話題であり、一時は中止を考えた中で開催出来たのは関係者のご尽力の賜物です。有難うございました。



第2分区花巻・北上ゾーン

ガバナー補佐 佐藤 克也 (花巻北RC)

2025-2026年度、フランチェスコ・アレツォ RI会長が掲げたテーマ「良いことのために団結しよう (Unite for Good)」のもと、加藤雄彦ガバナーの熱心なご指導のもとで、第2分区花北ゾーンのガバナー補佐としての職務を全ういたしました。

1 年を振り返って

今年度、花北ゾーンに所属する花巻・花巻南・花巻北・北上・北上西・北上和賀の全6クラブにおきまして、ガバナー補佐訪問、そしてガバナー公式訪問を順次実施いたしました。各訪問では、それぞれのクラブが抱える現状や課題を丁寧にくみ取るとともに、加藤ガバナーからの的確なご助言とご指導を直接いただき、すべてのクラブで無事に全行程を終了することができました。また、年度内に3回開催した会長幹事会では、各クラブの現状をさらに深く掘り下げて共有し、ゾーン全体としての今後の方向性を一致させることができました。

さらに、今年度のIMは奥州ゾーンが主体となって盛大に開催され、ゾーンを越えたロータリアン同士の絆を深める貴重な機会となり、社会奉仕活動におきましても、ポリオ撲滅に向けたチャリティコンペに第2分区の多くの皆様から多大なるご協力をいただき、温かい協賛を募ることができました。

この1年間、私を支え、共に歩んでくださった各クラブの会長・幹事はじめ会員皆様の温かいご支援とご協力に、心より深く感謝を申し上げます。

**第2分区奥州ゾーン** ガバナー補佐 **安藤 早苗** (奥州水沢東RC)

一年を振り返るにあたり、会員の皆様より賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

本年度は、岩谷堂ロータリークラブ解散後、水沢ロータリークラブ、前沢ロータリークラブ、そして奥州水沢東ロータリークラブの三クラブで新たな歩み始める節目の年となりました。そのような中にありましても、皆様が互いに支え合い、それぞれのクラブの特色を生かしながら活動を展開されましたことに、深い敬意を抱いております。

水沢ロータリークラブにおかれましては、新たに米山奨学生を受け入れられ、国際理解と友情の輪を広げていただきました。また、前沢ロータリークラブにおかれましては、福祉事業としてフードバンク活動に積極的に取り組まれ、地域社会への温かな奉仕を実践していただきました。そして、奥州水沢東ロータリークラブにおかれましては、一月末に開催いたしましたIMでは、会員皆様の全員参加のもと、多大なるご協力を賜りましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。準備段階から当日の運営、そして行事終了後の片付けに至るまで、最後の最後まで力を尽くしてくださった皆様の献身的なお姿は、まさにロータリアンの奉仕の精神そのものでありました。それぞれが自らの役割を誠実に果たし、互いを思いやりながら支え合う姿に、深い感動を覚えました。

この一年を通じて、改めて感じましたことは、「団結の力」の尊さでございます。会員増強への努力、新たな事業への挑戦、地域への奉仕活動、そのすべてが、皆様お一人おひとりのお力添えによって支えられてまいりました。

どうか今後とも、三クラブが互いに手を取り合い、友情と奉仕の精神をさらに深めながら、地域に必要とされるロータリー活動を築いてまいりましょう。一年間にわたり賜りましたご厚情とご協力に、心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝と各クラブのさらな

1 年を振り返って

るご発展をお祈り申し上げ、感謝の言葉と致します。
誠にありがとうございました。



第4分区遠野・釜石ゾーン ガバナー補佐 千葉 純子 (遠野RC)

ガバナー補佐としての1年間の役割を、このたび無事に終えることが出来ました。
2025-2026加藤雄彦ガバナーから、2024年11月30日付でガバナー補佐の就任依頼をいただき受諾いたしました。

早速、2025年3月16日、4月6日、同20日に開催された ガバナー補佐会議で加藤ガバナーの年度方針を拝聴致し、会員の皆様にガバナーの意向をお伝えしてクラブの円滑な運営に少しでも貢献できればと務めてきたつもりです。

初めてクラブの訪問や、記念式典にガバナー補佐として参加させていただき、それぞれのクラブの実情や素晴らしい奉仕活動に、大変感銘を受けました。

任期早々の7月26日に開催したIM (インターシティ・ミーティング)では、事前に加藤ガバナーより「柳田国男生誕150年」の、ご示唆をいただき、講師を招いて(卓話として)会員内で柳田国男勉強会を開くなどして、何とか開催にこぎつけました。

また、その費用には地区補助金を充てるという案を御教示いただき、急遽手続きをした次第です。

すべて、私にとって初めての事ばかりで、その1つ1つの経験が今後のクラブの取り組みに活かせるものと思っています。

この期間、関わっていただいた皆様に心から御礼申し上げます。



第4分区宮古・山田ゾーン ガバナー補佐 寺崎 勉 (宮古RC)

第4分区宮古エリア(宮古山田地区)のAGは2年交代で実施しており、2年間の思い出は各クラブとの相互理解・連帯感が進むことができたこと。

今年度スタートの7月、早々に遠野RC主幹のIMを開催、「柳田国男生誕150年」をテーマに地域市民を巻き込んだ事業を展開、加藤ガバナーにもパネリストとして参画、仙台育英の生徒たちも研修授業の一環で参加してもらい素晴らしい事業が開催できた。

年度初めのIM開催で、今年1年が終わった気持がした(笑)

9月に開催したガバナー公式訪問、事前に山田RC・宮古東RCを訪問、各クラブの事業計画、地域の課題やRCの地域に対する役割、いろいろ情報交換をすることができ、公式訪問も有意義な時間を持つことができた。

同じ地域、隣接のクラブ、ロータリーについての考え方や姿勢もそれぞれ異なり良い勉強になった。

分区活動として3月に「3クラブ会長幹事会」を開催、定期的な開催を確認するとともに、

1 年を振り返って

AGやガバナー事務所との連携を密にすることに繋げることができた。

今年度最後の分区行事として、6月宮古東RCの周年行事が開催予定。地区から柴田ガバナーエレクトに参加いただき、楽しみにしています。



第5分区石巻ゾーン ガバナー補佐 阿部 俊範 (石巻東RC)

2025-2026年度、加藤雄彦ガバナーのもと、第5分区ガバナー補佐として一年間務めさせていただきました。

前年10月2日次期ガバナー補佐会議から始まり、ガバナー補佐教育がガバナーエレクトのもと行われました。ロータリーの知識を深めることのみならず、補佐同志の絆が芽生え、充実した楽しいロータリー活動となりました。これは友情と親睦を深める機会となりロータリークラブの会員であることへの誇りと素晴らしい経験となりました。

ガバナー公式訪問は各クラブそれぞれに行われ、加藤雄彦ガバナーが、各クラブにおいて個別にアドバイスをする姿にガバナーのロータリークラブにおける、深い研鑽を垣間見ることが出来ました。

東日本大震災後15年ぶりのIMの開催は、ガバナーからの提案もあり、実施されることとなりました。ガバナーからウクライナと日本をつなぐICCのご講演をいただき、高橋ガバナー補佐のリーダーシップのもと盛会に行われました。

20年余ぶりの短期交換留学生「ロータリーの翼」の受け入れ、そしてオクラホマの高校生の行動用様式変化には隔世の感がありました(海鮮丼、仮面ライダーとこびと図鑑が好き)。楽しい思い出となりました。

加藤雄彦ガバナーのもと各クラブ会長、幹事を始めとする地区会員皆様のご支援ご協力のお陰でなんとかこの大役を務めることが出来ましたこと衷心より感謝申し上げます。一年間誠に有難う御座いました。



第5分区登米・栗原ゾーン ガバナー補佐 高橋 利光 (佐沼RC)

加藤雄彦ガバナーのご指導のもと、無事に大役を果たすことができました。ガバナーはもとより、同期のガバナー補佐、当ゾーンの会長・幹事の皆様、そしてロータリアンの皆様に、心から感謝申し上げます。

一番良かったことは、なにより自分自身が楽しかったことです。自分が楽しくないと、周りの人に楽しんでいただくことができません。

そして、2520地区のガバナー補佐の皆様や、登米・栗原ゾーンのロータリアンの方々と、懇親を深めることができたことは、私の一生の宝物です。改めて感謝申し上げます。

ガバナー補佐として、自分なりに一生懸命走ってきた一年でした。おかげさまで、以前にもましてロータリークラブが楽しくなりました。

1 年を振り返って

この経験を糧に、これからのロータリーライフを、皆さんと一緒に満喫していきたいと思えます。

ありがとうございました。



第6分区大崎ゾーン ガバナー補佐 早坂 竜太 (古川東RC)

2025-2026年度 第6分区大崎ゾーンのガバナー補佐、そして地区ガバナーノミニーとして皆様に大変お世話になりました。

第6分区大崎ゾーンには、古川RC、古川東RC、岩出山RC、加美RCの4クラブが属します。これらのクラブが所在する地域は古くから「大崎地域」と呼ばれ、連携した事業や活動が行われてきました。また、我々の誇りである世界農業遺産「大崎耕土」の認定区域もこの大崎地域と一致します。

このように古くから連携し地域の誇りを一にする大崎ゾーンとして、4クラブ合同で地区補助金を活用の上、世界かんがい施設遺産「内川」と「南原穴堰」の保全活動を続ける団体に必要な機材を寄贈する奉仕事業を実施しました。

更には、「世界ポリオデー」に合わせ4クラブ合同で「内川」の清掃活動に参加。2月には一般市民の参加も交え、世界かんがい施設遺産の第一人者である京都大学名誉教授の「渡邊紹裕」先生等を招いてのIMを開催するなど、関連付けた活動により維持保全の重要性について、地域への意識の高揚に寄与しました。

R I 会長はじめ加藤ガバナーが目指す方向性に対し、4クラブの意識統一を図り一体となって活動することができ、充実した一年となりました。

大崎ゾーン内の会員各位のご協力と、ご指導をいただいた加藤ガバナーほか関係各位に心から感謝し一年のご報告といたします。



第6分区松塩ゾーン ガバナー補佐 佐浦 弘一 (塩釜RC)

近年は松塩ゾーン内各クラブでも会員数の減少に苦慮していますが、一方で会員増強もなかなかうまくいっていないという厳しい現実があります。

そのような中で、間もなく創立60周年を迎えるはずであった大和RCが上半期で終結するという残念な動きがあった一方、2025年8月には多賀城1300ロータリー衛星クラブ(T1300RSC)が設立となったこと、またそのT1300RSCが11月に設立された日本・ウクライナ国際共同委員会の事務局機能を担うこととなり、ウクライナの復興と平和構築を支える国際共同活動において、今後の活躍が大いに期待されることです。

また塩釜RCと第7分区仙台広瀬ゾーン仙台宮城野RCが共同でスポンサーとなって東北学院ローターアクトクラブが設立され、6月25日には認証状伝達式およびチャーターナイトを開催するなど、新しい力も加わることとなり、松塩ゾーン全体の活性化にもつながる嬉し

1 年を振り返って

い動きも出てきました。

2月に開催したIMでは、「よねやま親善大使をお招きして考える国際交流」をテーマとして、よねやま親善大使ガンバト・トゥメンバヤル氏の基調講演やパネルディスカッションを行いました。あらためて日本のロータリーが誇る米山記念奨学会制度の価値を再確認する機会となったことと思います。

加藤ガバナーからはガバナー公式訪問のみならず、様々な機会に試算に富んだアドバイスをいただきました。その内容は私としても学ぶところが多かったのですが、今後の各クラブの活動にも大いに生きてくるものと確信しています。加藤ガバナーはじめ、松塩ゾーンの皆さまにも心より感謝申し上げ、ガバナー補佐としての報告といたします。



第7分区仙台青葉ゾーン ガバナー補佐 及川 正紹 (仙台RC)

本年度、第7分区青葉ゾーンガバナー補佐として、6月28日仙台青葉RCからスタートして、仙台RC、仙台冠RC、仙台レインボーRC、仙台泉RCを訪問させていただきました。加藤ガバナーの方針、事業計画などについて説明させて頂き、各クラブの事業方針等をお聞きして、加藤ガバナーの公式訪問の地均しをして参りました。

私自身、それまでは、他クラブとは殆ど交流する機会が無かったので、それぞれのクラブの特色、例会の様子、様々な活動への取り組み等、多くの事を学ぶ良い機会を与えて頂きました。お会い出来た皆様には心より感謝申し上げます。

この1年間、ガバナー補佐を勉強させて頂いたお陰で、多くの方々のお出会いと学びがありました。これからの私のロータリーライフの財産になると思います。

第7分区青葉ゾーンの会員の皆様、1年間本当にありがとうございました。



第7分区仙台広瀬ゾーン ガバナー補佐 渡邊 宏 (仙台北RC)

学びの多い楽しい一年でした。

加藤雄彦ガバナー、ガバナー補佐の皆さん、仙台広瀬ゾーンの各クラブのみなさんそして仙台北ロータリークラブの皆さん お世話になりました。

一年間地区を導き、国際共同委員会ICCなど立上げに尽力された加藤ガバナー、ありがとうございます。ロータリーの国際性を再確認しました。

一年間、ロータリーを「知り、好きになり、楽しむ」ために、大会、イベント、セミナー、研究会に参加し、クラブ訪問を重ねました。お陰様で多くのロータリアンを知り、各クラブの特色ある活動を学ぶことができました。時々、もっと若い時に入会していたらと思うこともありました。

ロータリーの課題の一つは「会員増強」ですが、4月のクラブ活性化セミナーのテーマは「辞めないクラブづくり」でした。クラブと会員のミスマッチを少なくするためにも、一人一人

1 年を振り返って

がロータリーと多くのクラブの活動に触れ、直接参加することが大切だと思います。

反省です。ロータリーには多くの学びと交流の場がありますが、まだまだその機会と知見を活かしていないと痛感しています。一方でロータリーは、多様性と豊かさを持ち人間の平和を希求する奉仕の場です。これからも許す限り「学びと交流」を続けていきます。



第8分区阿武隈ゾーン ガバナー補佐 今野 茂男 (丸森RC)

昨年7月第8分区阿武隈ゾーンのガバナー補佐を拝命し、早いもので1年が過ぎようとしています。

当初は、重責に、不安と心配の連続でしたが、加藤ガバナーの力強い方針の下、阿武隈ゾーン各クラブの会長幹事の皆様方、そして各クラブ会員の皆様方の温かいご支援ご協力に支えられ、何とか勤め上げることができました。心より御礼申しあげます。

ガバナー補佐訪問やガバナー公式訪問などで、各クラブを訪問し、地域ニーズに寄り添った素晴らしい奉仕活動を間近に拝見できたことは、私にとって生涯の財産です。ロータリーの絆の深さと、地域を創る力を改めて実感できた日々でした。

至らぬ点多々あったと思いますが皆様のおかげで重責を全うすることができましたこと、大変うれしく思います。

私の任期はまもなく終了しますが、阿武隈ゾーンの歩みは、これからも続きます。次期ガバナー補佐角田ロータリークラブの金子さんへ、しっかりとバトンをつないで参りたいと思います。

1年間本当にありがとうございました。



第8分区蔵王ゾーン ガバナー補佐 志村 浩幸 (白石RC)

加藤ガバナーの会員と共に歩むロータリーの旅、ロータリーは奉仕活動の中で他者への思いやりと献身を考えながら活動して行くことを1年間学ばせていただきました。仙台育英学園高等学校インターアクトクラブ、多賀城1300ロータリー衛生クラブの創設がウクライナの支援が国際共同委員会に発展し平和の実現に貢献していることは、大変素晴らしい事だと思います。蔵王ゾーンも各クラブの会長、幹事の皆さんの協力により公式訪問の活発な意見交換、定款の変更を学び実行しております。IM(丸森RCホストクラブ)あぶ急元気化講演会が町民参加の地域フォーラムとして大変参考になる活動報告でした。

次年度IMは白石RCがホストクラブ 柴田RCの案を参考に(阿武隈急行)地域フォーラムとして8分区で認定し開催できる様活動しております。ガバナー補佐としてロータリーの発展と地区の活性化を学ばせていただいた1年でした。ありがとうございました。

3大セミナー開催報告



2026-2027年度 3大セミナー開催報告

次期代表幹事

原田 誠章 (盛岡東RC)

2026-2027年度国際ロータリー会長、オラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」をテーマに掲げられました。この方針は、単なる活動の継続ではなく、地域社会に長く価値を残す奉仕活動を求めるものであり、第2520地区においても、その実践に向けて3大セミナーを開催いたしました。

まず、3月22日に開催された地区チームラーニングセミナー (DTLS) では、ポリオ根絶、平和推進、会員増強、インパクトある奉仕活動というRIの重点事項について理解を深めました。柴田エレクトからは、会員純増、青少年育成、地域課題解決型奉仕、ロータリー財団支援など地区としての具体的方針が示され、各地域に根差した実践の重要性が共有されました。

続いて、4月12日に開催された会長エレクトラーニングセミナー (PELS) には、会長エレクトをはじめ多くの地区役員が参加し、次年度に向けた準備と共通認識の醸成が図られました。地区行事日程や予算の承認に加え、各委員会より会員増強、公共イメージ向上、ロータリー財団、青少年育成、RLI推進など具体的な活動方針が発



表されました。また、バルセロナ国際大会参加促進やマイロータリー登録の重要性についても共有されました。

さらに、5月17日に開催された地区研修・協議会 (CLLS) には452名が参加し、ロータリー・ポリオ根絶大使の尾身茂先生による「感染症との闘い」の記念講演が行われました。その後、各部会に分かれて実践的な討議が行われ、地区としての連携強化と方向性の共有が図られました。

これら3大セミナーを通じて、国際ロータリーの方針と地区運営方針が明確に共有され、7月1日から始まる柴田茂ガバナール年度に向けた準備を整えることができました。

地区・クラブ・会員が一体となり、持続可能なインパクトの創出に取り組んでまいります。



台北国際大会速報

世界中のロータリーファミリーが集結する「ロータリー国際大会」が、2026年6月13日～17日に台湾・台北市で開催されました！

台北での開催は32年ぶり2回目。国境を越えて知識を交換し、交友を深める絶好の機会となりました。会場の台北ドームと台北南港展示ホールは活気に包まれ、参加者はお互いに情報を交換し啓発し合いながら大いに盛り上がりました。



「友愛の広場」(House of Friendship)の日本-ウクライナ国際共同委員会(ICC)ブースに、国際ロータリー事務総長兼CEOのジョン・ヒューコ氏が訪問された際の記念撮影

新入会員紹介・退会者報告

新入会員紹介

柴田 RC  みやけ やすのぶ 三宅 泰信 2026.4.1 入会 住職	柴田 RC  あんさい よしかず 安齋 良和 2026.4.1 入会 飲食店	盛岡 RC  むとう たかゆき 武藤 崇之 2026.5.8 入会 自動車保険	北上 RC  すがわら 菅原 かずみ 2026.5.12 入会 美容業	盛岡西北 RC  かしわがき ともひろ 柏崎 智広 2026.5.13 入会 葬祭業	大船渡 RC  いとう としや 伊藤 俊哉 2026.5.13 入会 司法書士
名取 RC  まつうら みつてる 松浦 光輝 2026.5.14 入会 医薬品卸業	盛岡南 RC  やがみ あきお 谷上 昭夫 2026.5.21 入会 不動産業	盛岡東 RC  さとう しんじろう 佐藤 新二郎 2026.5.25 入会 総合警備	仙台 RC  わがつま よしのり 我妻 良範 2026.5.26 入会 総合商社	仙台東 RC  なんぶ かずゆき 南部 一行 2026.6.8 入会 電気事業	仙台東 RC  ひらい よういちろう 平井 洋一郎 2026.6.8 入会 証券業

退会者報告

クラブ名	氏名	職業分類	退会日
気仙沼RC	佐々木 利重	鮮魚仲買	2026.4.9
宮古RC	門馬 光一	菓子製造販売	2026.5.8
古川RC	佐々木 治樹	林業	2026.5.8
名取RC	浅野 誠也	医薬品卸業	2026.5.14
仙台奥羽RC	佐藤 良幸	デザイナー	2026.5.25
仙台RC	西村 一彦	外食チェーン	2026.5.26
石巻西RC	佐藤 正次	農業	2026.5.31
花巻RC	佐藤 良介	金物販売	2026.6.30
花巻RC	浅沼 幸二	報道	2026.6.30
花巻南RC	八森 辰雄	スポーツ用品販売業	2026.6.30
古川東RC	佐々木 貴之	電源開発業	2026.6.30
古川東RC	木村 正輝	クリーニング業	2026.6.30
古川東RC	太田 邦良	住宅販売業	2026.6.30
仙台南RC	山下 晴輝	損害保険	2026.6.30
仙台南RC	百足 健一	著述・出版・講演	2026.6.30

クラブ会員数・寄付状況

「善意を尽くせば、いつかその善意は戻ってくる」

5月ロータリーレート\$: 160

分 区	No.	クラブ名	会員数 (内女性)	財団寄付累計額 (ポリオ指定)		米山寄付 累計額
第一分 区	久慈・二戸	1 久慈	24(1)	367,450	41,050	47,000
		2 二戸	49(6)	559,658	210,930	415,000
		3 種市	16(0)	31,128	5,128	8,000
	盛 岡	4 盛岡	72(2)	1,210,243	147,434	990,000
		5 盛岡北	38(3)	520,957	185,781	194,000
		6 盛岡西	23(2)	373,285	99,581	85,000
		7 盛岡南	48(2)	809,600	185,600	194,000
		8 盛岡東	27(3)	1,733,317	280,176	182,000
		9 盛岡中央	27(4)	542,843	78,843	125,000
		10 盛岡西北	43(6)	703,106	10,626	160,000
		11 盛岡滝ノ沢	4(3)	4,016,000	0	24,000
分区分合計			371(32)	10,867,586	1,245,147	2,424,000

第二分 区	花巻・北上	12 花巻	30(2)	708,792	53,499	221,000
		13 花巻南	28(1)	366,211	86,458	174,000
		14 花巻北	41(3)	372,715	15,923	164,000
		15 北上	39(5)	178,080	73,280	411,000
		16 北上西	20(4)	287,246	47,246	139,000
		17 北上和賀	21(4)	521,992	177,992	63,000
		奥 州	18 前沢	7(0)	196,883	36,883
	19 水沢		16(2)	109,312	16,000	164,000
	20 奥州水沢東		35(7)	401,787	291,022	190,000
	分区分合計			237(27)	3,143,019	798,304

第三分 区	一関・平泉	21 花泉	9(1)	160,261	51,952	110,000
		22 一関	12(1)	178,366	18,909	39,000
		23 一関中央	13(6)	458,646	160,000	456,000
	大船渡・高田・ 千蔵・気仙沼	24 大船渡	28(2)	206,939	100,539	56,000
		25 大船渡西	29(4)	336,488	272,736	175,000
		26 陸前高田	14(0)	95,272	22,997	17,000
		27 千蔵	22(3)	78,216	39,653	22,000
		28 気仙沼	17(0)	0	0	27,000
		29 気仙沼南	35(1)	52,344	36,344	205,000
		分区分合計			179(18)	1,566,533

第四分 区	遠野・釜石	30 釜石	21(2)	556,042	76,032	60,000
		31 釜石東	29(3)	160,000	0	225,000
		32 大槌	6(0)	68,000	19,200	18,000
		33 遠野	10(2)	207,794	51,949	20,000
	山田・宮古	34 宮古	28(3)	339,723	98,789	116,000
		35 宮古東	20(1)	281,437	21,477	140,000
		36 山田	19(1)	137,144	25,144	19,000
分区分合計			133(12)	1,750,139	292,590	598,000

第五分 区	三陸	37 石巻東	39(0)	713,130	385,130	235,000
		38 石巻西	31(3)	533,918	21,918	31,000
		39 石巻南	20(1)	353,486	17,486	119,500
	登米・栗原	40 栗駒	13(1)	156,563	81,163	26,000
		41 築館	17(2)	745,600	81,600	837,000
		42 佐沼	57(6)	457,072	179,506	591,000
		43 若柳	27(6)	104,000	0	54,000
	分区分合計			204(19)	3,063,770	766,803

第六分 区	大崎	44 古川	40(2)	516,848	25,974	346,000
		45 古川東	43(1)	3,789,536	100,523	415,000
		46 岩出山	10(1)	145,566	65,134	105,000
		47 加美	18(0)	51,000	0	19,000
	松塩	48 松島	5(0)	214,266	22,266	10,000
		49 塩釜	26(1)	469,842	0	365,000
		50 塩釜東	11(1)	45,746	21,014	32,000
		51 多賀城	21(3)	834,603	156,277	186,000
		多賀城1300	23(6)	0	0	10,000
		52 利府	8(1)	24,616	0	32,000
53 七ヶ浜	13(1)	227,533	0	0		
分区分合計			218(17)	6,319,555	391,189	1,520,000

第七分 区	仙台青葉	54 仙台	119(5)	5,977,482	626,802	1,470,100	
		55 仙台泉	52(3)	493,003	67,826	343,000	
		56 仙台青葉	46(0)	102,064	78,064	357,000	
		57 仙台冠	22(4)	125,883	34,176	44,000	
	58 仙台レインポー	10(3)	217,224	12,886	45,641		
	仙台広瀬	59 仙台南	48(3)	958,621	120,619	242,000	
		仙台南一 白石衛星	19(8)	0	0	21,000	
		60 仙台北	52(2)	329,360	288,240	300,000	
		61 仙台東	49(0)	424,218	313,218	657,500	
		62 仙台西	39(1)	653,830	341,734	335,000	
		63 仙台宮城野	30(2)	11,283,350	5,565,810	157,000	
		64 仙台奥羽	21(3)	217,373	51,157	47,000	
		分区分合計			507(34)	20,782,408	7,500,531

第八分 区	阿武隈	65 岩沼	26(2)	642,698	156,907	442,500		
		66 名取	30(3)	305,829	69,805	172,000		
		67 亘理	10(0)	124,048	21,648	44,000		
		68 角田	20(0)	70,472	54,472	20,000		
		69 丸森	15(0)	105,000	0	75,000		
		蔵王	70 白石	16(3)	216,488	29,498	67,500	
			71 柴田	21(1)	514,283	37,867	254,000	
	72 村田		13(1)	103,360	24,960	52,000		
	73 大河原		31(4)	216,406	101,094	242,000		
	分区分合計			182(14)	2,298,584	496,251	1,369,000	
	地区合計			2,031(174)	49,791,594	12,193,946	14,501,741	

RAC(5)	1 宮古RAC	10(4)	0	0	0	
	2 古川東RAC	8(2)	0	0	0	
	3 仙台RAC	3(3)	0	0	0	
	4 仙台泉RAC	30(10)	225,750	75,011	0	
	5 東北学院大学RAC	15(7)	0	0	0	
RAC合計			66(25)	225,750	75,011	0

※訂正のお詫び：仙台泉 RAC の寄付額集計計算に間違いがあり、今回訂正いたしました。謹んでお詫び申し上げます。

寄付報告(5月認証)

■ロータリー財団

認 証	所 属	氏 名
メジャードナー(Level 1)	二戸RC	工藤 武三
マルチブル・ポール・ハリス ・フェロー	北上西RC	草野 文夫
	七ヶ浜RC	鈴木 昭
ポール・ハリス・フェロー	仙台泉RC	本木 浩喜

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所 属	氏 名
米山功労者メジャードナー	仙台西RC	村山 裕俊

表彰名	表彰クラブ
米山功労クラブ	佐沼ロータリークラブ

第2520地区ホームページからのお知らせ ※詳細はホームページをご覧ください

2026.6.15 公共イメージ委員会が制作したポッドキャスト番組第5弾！

「会いたい人がいる場所、それが“ふるさと”—人口減少時代のまちづくりと人づくり—」

今回のゲストは、2026-2027年度 国際ロータリー第2520地区 ガバナーエレクト、古川東ロータリークラブ所属、株式会社古川土地代表取締役の早坂JBD竜太さん。人口減少や少子高齢化が進む中、地域の未来をどう描いていくのか。長年にわたり地域づくりと人づくりに取り組んできた早坂さんに、その想いを伺いました。



加藤 雄彦ガバナー年度、皆様のご支援誠にありがとうございました

— 仙台ロータリークラブ—